

「小中の連携を深め

児童生徒の教育課題についてともに考えよう」

I 主題設定の理由

これまで、授業参観等を通して、具体的な児童生徒の様子を話題としながら、児童生徒の学習課題・生活課題について話し合うことで、小・中学校の連携のあり方について探ってきた。

今年度も、これまでの研究をもとに、小・中学校連携の意義の確認と児童生徒が抱える様々な教育課題について、ともに考えることで、児童生徒のよりよい成長を目指していきたい、と考え、このテーマを設定した。また、甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの連携も図りながら、系統的な教育のあり方について考えていきたい。

II 研究の内容

1 第1回ブロック研究交流会

(1) 日時 平成28年 8月 5日(金)

日(月) 午後1時30分から

(2) 会場 大和地区内(諏訪神社, 三島神社, 大和小学校)

(3) 内容

① 臨地研修

・「大和地区の歴史について」について

② 研究討議

・今年度の研究について

・情報交換

2 第2回ブロック交流研究会

(1) 日時 平成28年11月16日(水) 午後2時から

(2) 会場 大和中学校

(3) 内容

①大和中学校授業参観

中学校1年道徳 授業者 駒井 隆浩 教諭

②研究討議

・小学校, 中学校校内研修について

・中学校1年道徳の授業について

・中学校1年生の様子について

- ・大和地区の教育課題について

3 第3回ブロック交流研究会

(1) 日時 平成29年 1月18日(水) 午後2時から

(2) 会場 大和小学校

(3) 内容

①大和小学校授業参観

6年道徳 授業者 飯室 美華教諭 2年道徳 授業者 新海小緒里 教諭

②情報交換会

- ・小学校の道徳の授業について
- ・小学校6年生の様子について(6年担任)
- ・教育課題について
- ・今年度の研究のまとめ

III 成果と課題

1 成果

- ・臨地研修では、大和地区の史跡に関する学習会を行った。諏訪神社と三島神社の見学と説明を受けた後、武田氏に関する史跡を中心に説明を聞いた。身近にたくさんの史跡があることがわかり、地域について学習できる良い機会であった。
- ・中学1年生の道徳の授業を参観し、情報交換を行った。児童や生徒の様子を伝え、大和小中での教育課題について情報交換を行うことができた。
- ・小学校では、2年生と6年生の道徳の授業の参観を行った。中学校でインフルエンザが流行ってしまい、文章での情報交換になってしまったが、小学校からの発達段階を知っていただく良い機会となった。
- ・回数は少ないが、小中の連携を図る良い機会となっている。

2 課題

- ・情報交換を行いながら、小中で足並みをそろえて取り組んでいきたい。
- ・研究の方法や内容について研究主任間で事前に打ち合わせる時間をもう少し取る必要がある。
- ・教師間の交流だけでなく、児童生徒が交流する場面をもう少し考えていきたい。
- ・小中9年間を見通した、一貫性のある取り組みを考える必要がある。
- ・生活指導や学習規律など、教員間での情報交換・共有を密に行い、小中で一貫した指導をしていきたい。
- ・来年度も、小中で情報交換を行う中で、個々の子どもにあった指導法を展開していくことが大切である。集団としてというより、より個々に合わせたという方が地域に合っている。

(ブロック長 新海小緒里)